

## 食品安全委員会放射性物質の食品健康影響評価に関する ワーキンググループ（第7回）の結果概要

日 時：平成23年7月13日（水）10:00～12:08

場 所：食品安全委員会中会議室

### 議事概要

#### （1）放射性物質の食品健康影響評価について

- ・放射性物質の食品健康影響評価における、ウランに関する知見のとりまとめ（案）について議論された結果、主に、金属としての毒性から得られる耐容一日摂取量（TDI）を評価結果とすることとし、ラットの毒性試験結果のLOAELから、不確実係数100を適用して、TDIを $0.6\mu\text{g}/\text{kg}$  体重/日とされた。
- ・核種ごとのとりまとめの方針として、座長メモのとおり、ストロンチウム、ウラン以外の $\alpha$ 核種（プルトニウム、アメリシウム及びキュリウム）はできる限りの知見の整理を行うが、健康影響評価は示せないことが合意された。
- ・低線量に関する検討については、ヒトにおける知見を優先すること、累積線量で評価結果をまとめること、胎児・小児への影響については成人の健康影響に関する文献等を精査した上で検討することが合意された。
- ・低線量域の生体影響の取扱い、閾値のない直線仮説の取扱い等については、評価における必要性も含めて議論され、更に関係論文を精査し、次回に審議することとなった。

#### （2）その他

- ・次回は7月21日（木）16時から開催することとなった。